

事務連絡
令和7年12月24日

出店企業の皆様へ

(公財) 日本食肉流通センター

中・長距離フェリー等に係る積載率動向について【情報提供】

日頃から当センターの業務運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

農林水産省畜産局食肉鷄卵課を経由して、中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について、別添のとおり周知依頼がありましたのでお知らせします。

(別添)

関係団体 各位

国土交通省海事局では、中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向を調査し、その結果を令和5年8月より公表しております。

この度、下記 URL のとおり、令和7年7~9月分の船舶に係る積載率動向が国土交通省 HP に公開されておりますので、お知らせいたします。

【国交省 HP】https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji10_hh_000161.html

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進や、いわゆる「2024 年問題」対策の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

詳細につきましては、別添の【事務連絡】、【添付資料】をご参照ください。

モーダルシフトの取組については、農林水産省の持続可能な食品等流通対策事業や国土交通省のモーダルシフト等推進事業による支援も行っておりますので、御関心ございましたら、御相談・お問い合わせください。

【問い合わせ先】

・農林水産省食品流通課物流生産性向上推進室

TEL（直通）：03-6744-2389

・国土交通省海事局内航課

TEL：03-5253-8111 （内線 43463、43454） 直通 03-5253-8625

事務連絡
令和7年12月1日

関係業界団体 各位

国土交通省海事局内航課

船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！
～中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～

国土交通行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力をいただき、御礼申し上げます。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向を調査し、その結果を令和5年8月より公表しております。

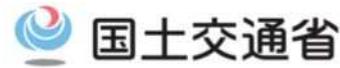
この調査は、中・長距離フェリー事業者、RORO船事業者及び内航コンテナ船事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和7年7～9月）の中・長距離フェリー、RORO船、内航コンテナ船に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も四半期毎に調査を実施し、その結果を公表していきます。

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

【添付資料】

- ・中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和7年7月～9月）
- ・RORO船のトラック輸送に係る積載率動向について（令和7年7月～9月）
- ・内航コンテナ船の輸送に係る積載率動向について（令和7年7月～9月）

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について(令和7年7~9月)



中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

【中距離フェリー航路：片道の航路距離100km以上～300km未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

【長距離フェリー航路：片道の航路距離300km以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

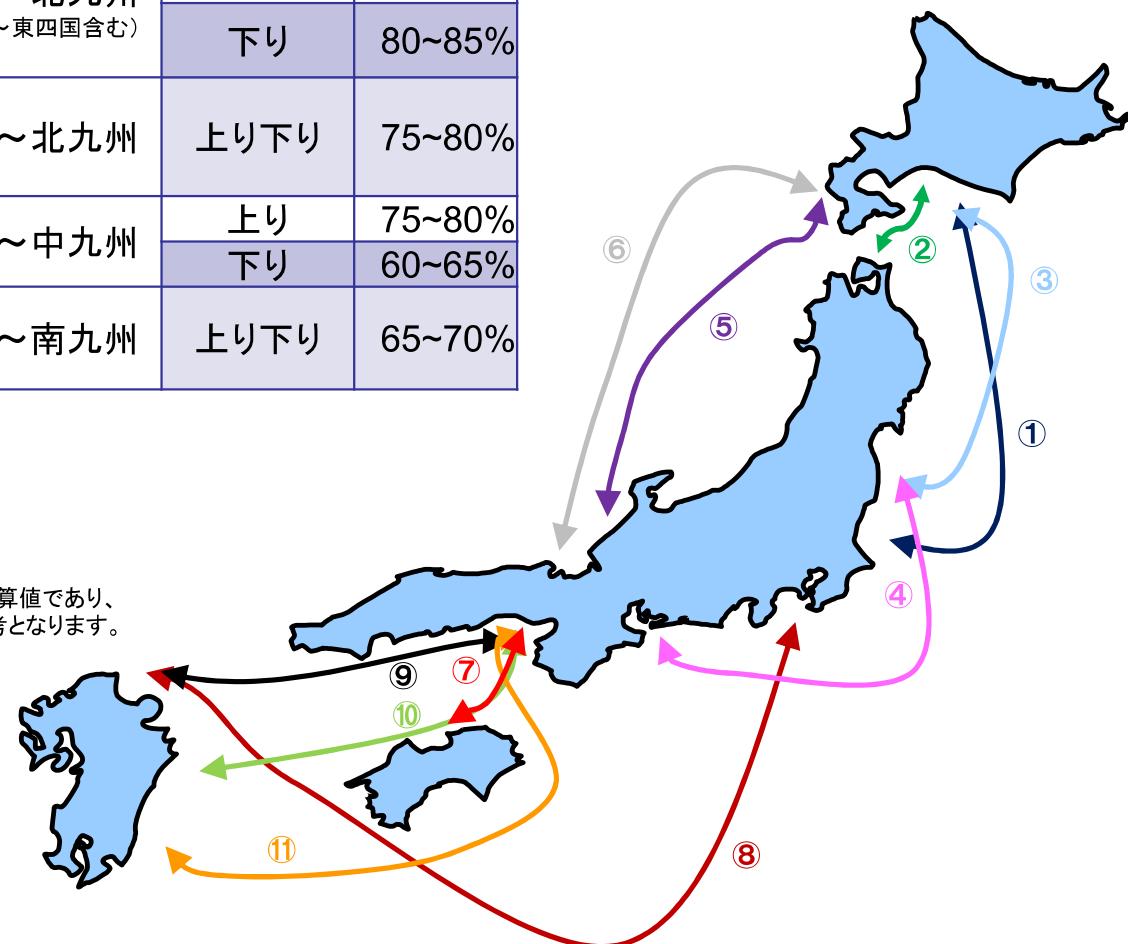
航路	上り／下り	積載率
①北関東～北海道	上り	75～80%
	下り	85～90%
②北東北～北海道	上り	45～50%
	下り	25～30%
③東東北～北海道	上り	80～85%
	下り	75～80%
④中京～東東北	上り	75～80%
	下り	75～80%
⑤北陸～北海道	上り	70～75%
	下り	70～75%
⑥阪神～北海道	上り	60～65%
	下り	55～60%
⑦阪神～北四国	上り下り	50～55%

航路	上り／下り	積載率
⑧京浜～北九州 (一部、京浜～東四国含む)	上り	75～80%
	下り	80～85%
⑨阪神～北九州	上り下り	75～80%
	上り	75～80%
⑩阪神～中九州	下り	60～65%
	上り下り	65～70%

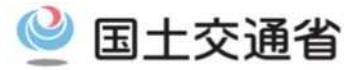
※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和7年7～9月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

【航路に関するお問合せ】
(一社)日本旅客船協会
TEL:03-3265-9693

【資料全般に関するお問合せ】
国土交通省海事局内航課
TEL:03-5253-8625(内線43-453、43-454)



RORO船のトラック輸送に係る積載率動向について(令和7年7~9月)



RORO船航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

航路	上り／下り	積載率
東東北～北海道	上り	70～75%
	下り	60～65%
北陸～北海道	上り	90～95%
	下り	85～90%
京浜～北海道	上り	65～70%
	下り	70～75%
京浜～東東北	上り	90～95%
	下り	55～60%
中京～東東北	上り	75～80%
	下り	70～75%
京浜～中京	下り	95～100%
京浜～阪神	上り	90～95%
	下り	80～85%
京浜～北四国	上り	60～65%
	下り	95～100%

【資料に関するお問合せ先】

国土交通省海事局内航課

TEL:03-5253-8627(直通)

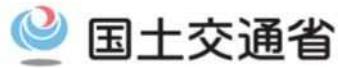
航路	上り／下り	積載率
京浜～南中国	上り	75～80%
	下り	95～100%
阪神～南中国	下り	60～65%
	上り	80～85%
南中国～北四国	下り	60～65%
北陸～北九州	上り	30～35%
	下り	80～85%
京浜～北九州	上り	80～85%
	下り	80～85%
中京～北九州	上り	85～90%
	下り	85～90%
阪神～北九州	上り	60～65%
	下り	35～40%
京浜～南九州	上り	85～90%
	下り	80～85%
阪神～南九州	上り	85～90%
	下り	75～80%

※今回の調査はRORO船事業者のうち、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和7年7～9月)の概算値であり、

実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

内航コンテナ船の輸送に係る積載率動向について(令和7年7~9月)



内航コンテナ船航路を以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中の内航コンテナ船輸送に係る積載率動向を調査した。

航路	上り／下り	積載率	航路	上り／下り	積載率
北海道～東東北	上り	70～75%	阪神～南中国	上り	60～65%
	下り	55～60%		下り	65～70%
西東北～北陸	上り	70～75%	阪神～北四国	下り	55～60%
	下り	80～85%		上り	60～65%
北陸～北九州	下り	65～70%	阪神～北九州	下り	70～75%
中京～阪神	上り	20～25%		上り	60～65%
	下り	50～55%		下り	55～60%
京浜～北海道	上り	60～65%	南中国～北九州	上り	15～20%
	下り	55～60%		下り	25～30%
京浜～東東北	上り	80～85%	南中国～北四国	上り	60～65%
	下り	75～80%		下り	35～40%
京浜～中京	上り	60～65%	北四国～阪神	上り	60～65%
	下り	50～55%		上り	65～70%
京浜～阪神	上り	40～45%	北九州～西東北	下り	80～85%
	下り	55～60%		上り	65～70%
京浜～南中国	上り	55～60%	北九州～北四国	下り	65～70%
	下り	60～65%		上り	40～45%
	下り	50～55%			

※今回の調査は内航コンテナ船事業者のうち、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和7年7～9月)の概算値であり、

実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

【資料に関するお問合せ先】

国土交通省海事局内航課

TEL:03-5253-8627(直通)